

令和4年台風15号災害における中・長期支援とその課題

防災総合センター副担当 望月美希（情報学領域・助教）

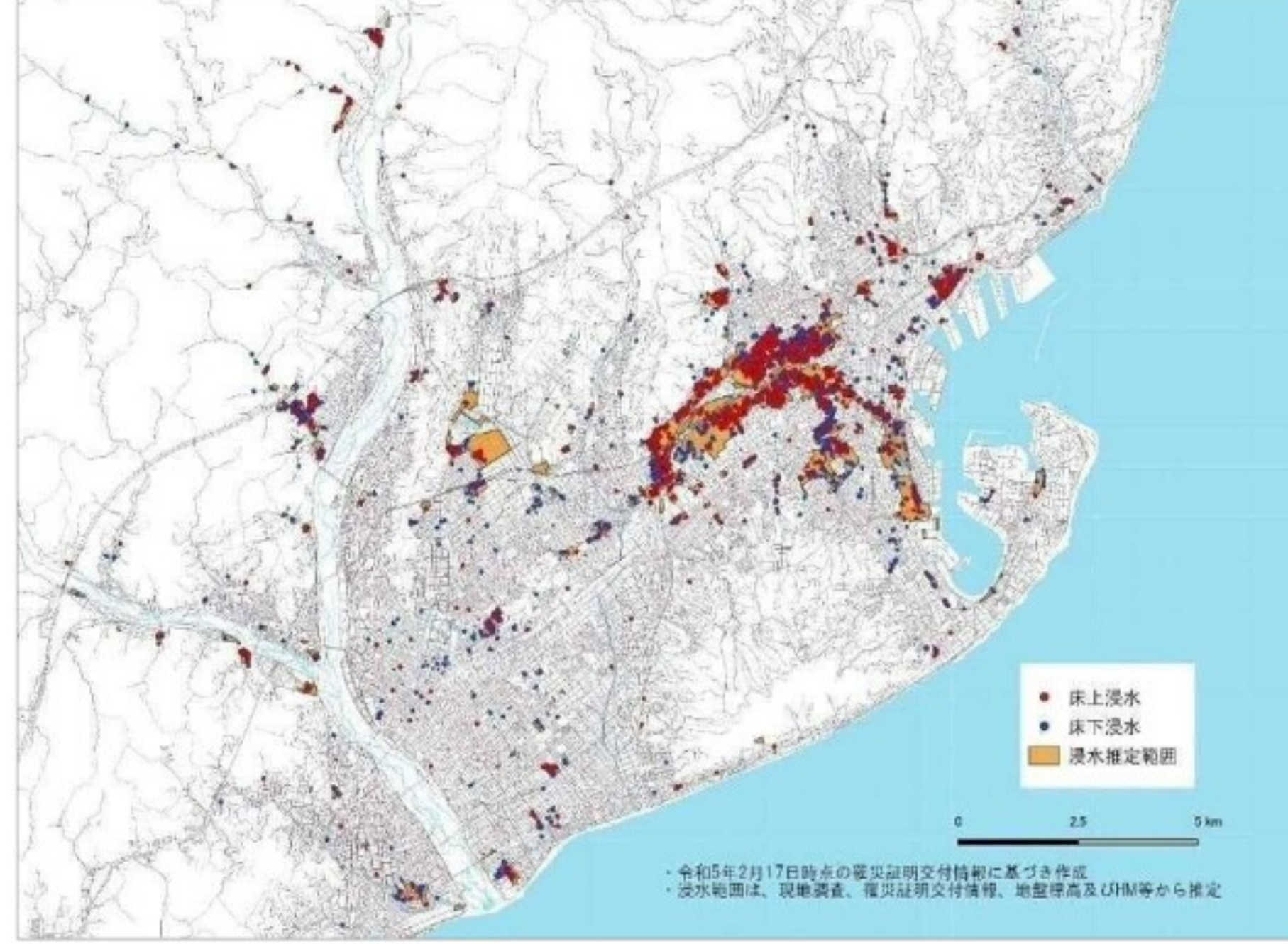
はじめに：報告のねらい

- 令和4年台風15号は静岡市に大きな被害をもたらし、浸水被害、断水被害、土砂崩れの被害により避難生活を余儀なくされた方も少なくない
- 一方、断水復旧（2022年10月）後も、浸水被害の復旧・復興作業やこころのケアなど被災された方々に向けた支援が継続的になされている
- 静岡大学情報学部学生有志は、特に大きな被害を受けた清水区において初期の復旧支援から、災害支援拠点「ふらっと」で中・長期支援として被災エリアのこどもたちの居場所づくりなどの活動を行ってきた
- 本報告では、そうした活動を通じて見えてきた地域の現状から、台風被害から1年弱経過した現在、中長期的な復興課題は何かを考える



静岡市清水区の被害の概況

清水区内で住宅への被害が見られたエリア：巴川流域（浸水被害）と山手（土砂被害）



出典：静岡市「台風15号に係る災害対応検証 最終報告」（令和5年3月）

静岡市清水区の被害の概況

清水区では、特に高部・高部東・飯田学区で浸水被害が多くみられた



台風時の清水区柏尾（高部学区）の住宅内の様子（住民提供）



2022年9月27日石川本町エムエムフーズ付近（住民提供）



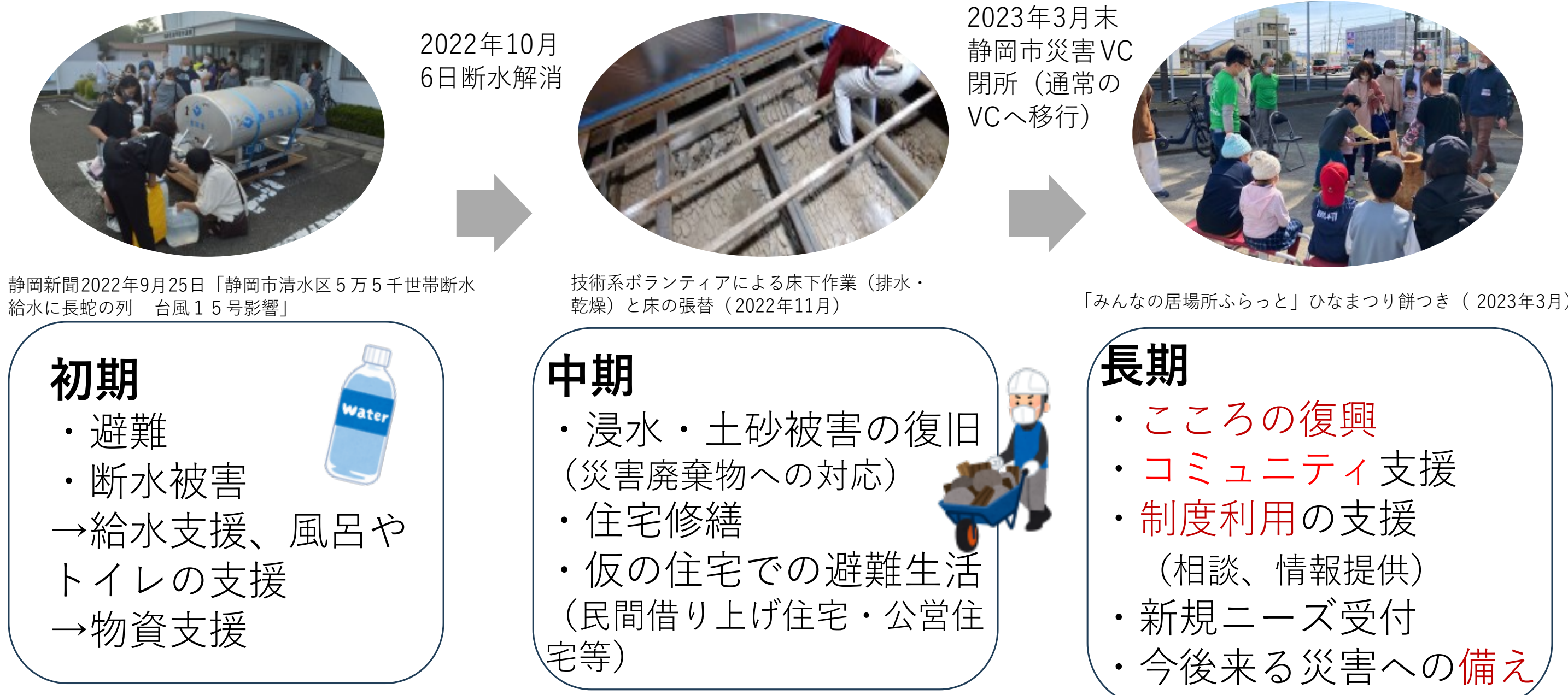
2022年9月27日清水第六中学校付近（住民提供）

復旧・復興に向けた段階と支援活動の動向

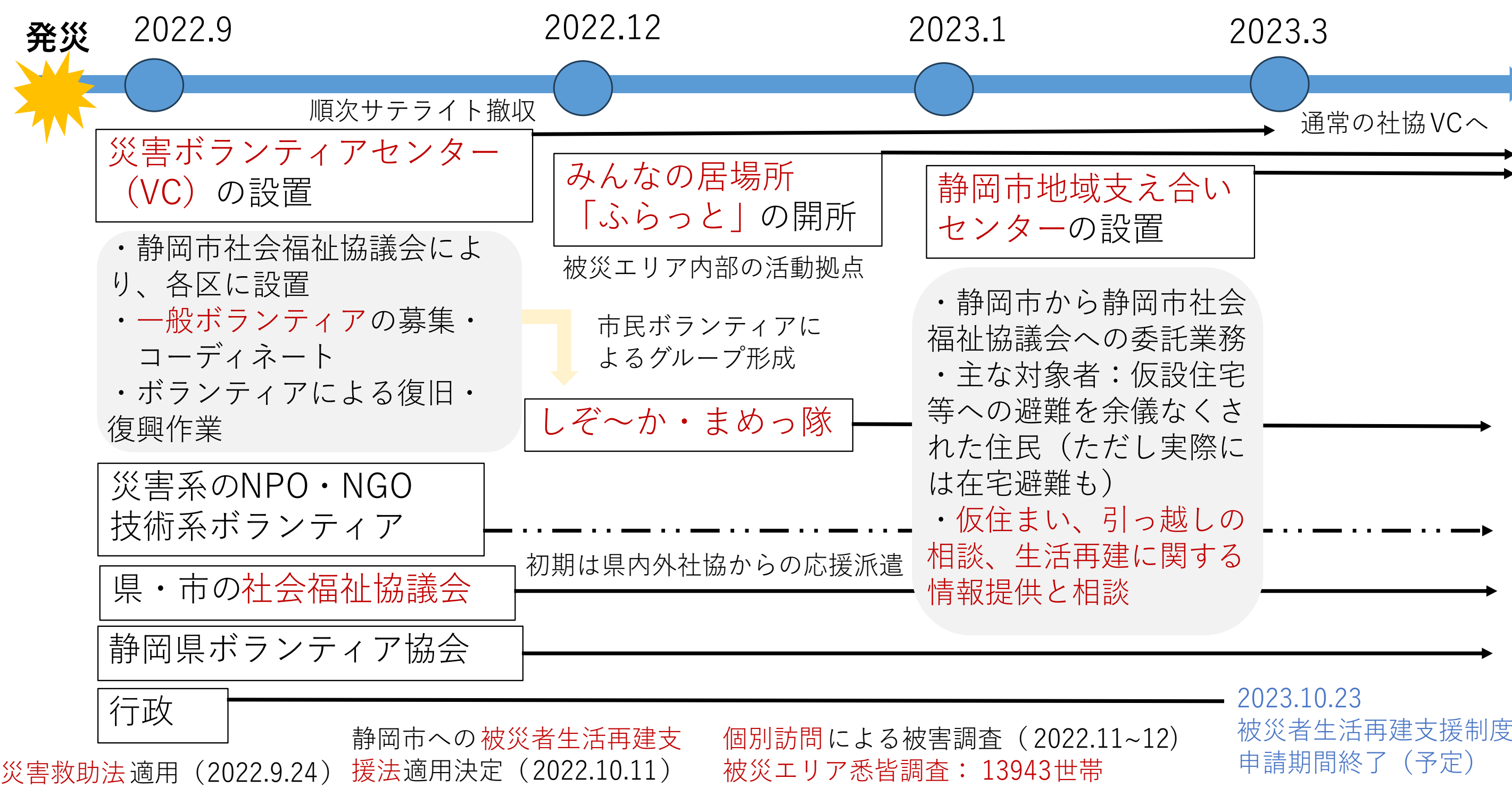
2023年9月～10月

2022年10月～2023年3月

2023年4月～現在



静岡市の復旧・復興支援の動き（筆者作成）



災害支援拠点「みんなの居場所 ふらっと」

- 2022年12月18日、元・秋月堂天王町店（台風15号被害により閉店）で「みんなの居場所 ふらっと」を立ち上げ
- 中長期支援、被災エリア住民の方々への場づくり、ボランティアの拠点
- 運営主体：静岡県ボランティア協会、NPO等の市民団体（清水災害ボランティアネットワーク、災害対応NPO MFP、しぞ〜か・まめっ隊）（日本財団による支援）



ふらっとのチラシ

2023年3月のひなまつりイベント

移転後のふらっと

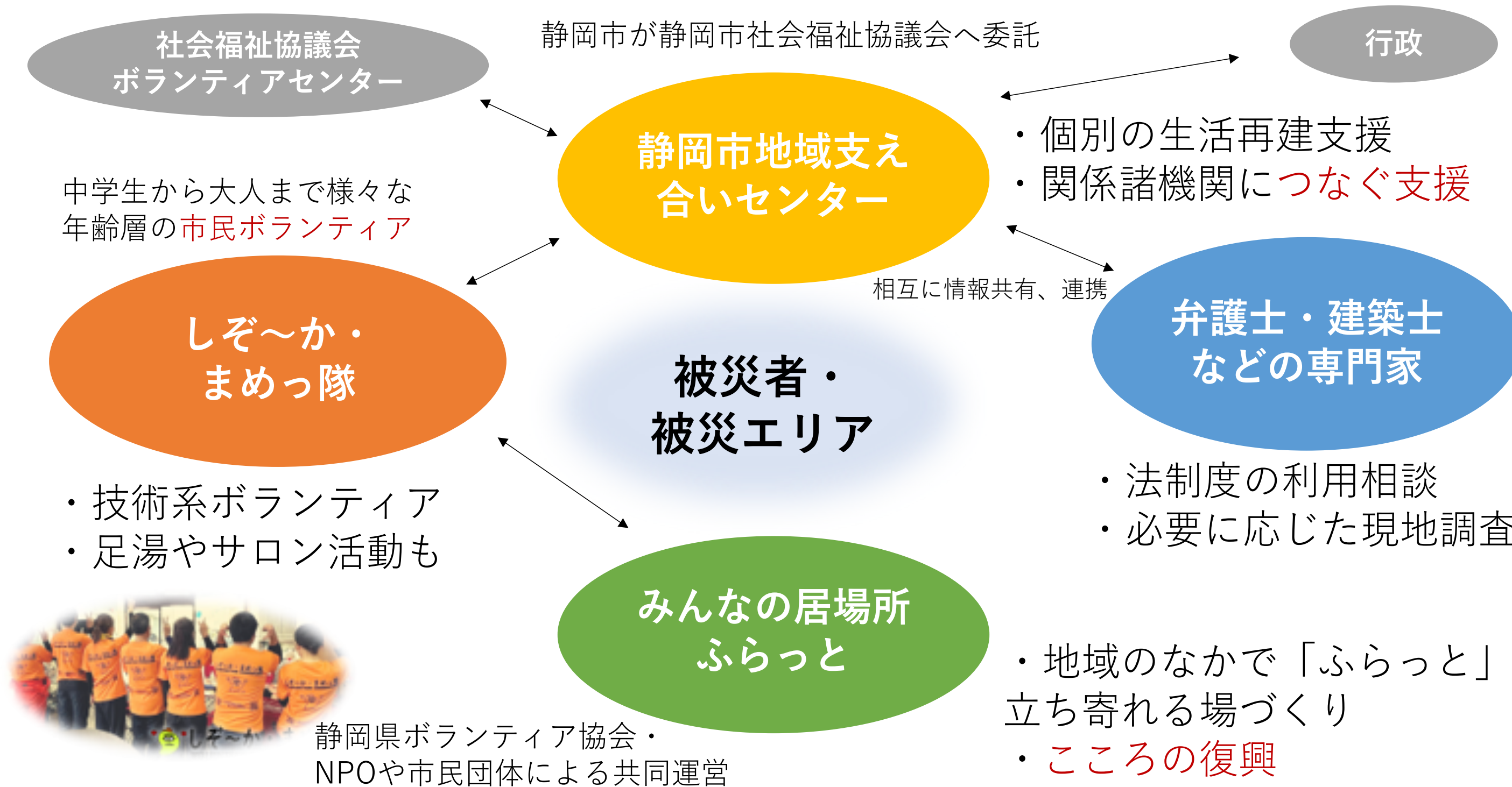
ふらっとでの活動事例：日常的な地域の居場所づくり

- 被災エリアの人々が集える場づくり（喫茶ふらっと、足湯カフェ…）
- 災害ボランティアと住民の方々、住民同士の交流
- 静岡大学学生有志を中心に「学習支援活動」（2023年2月～7月）
- 地域のなかに「安心できる場」「困ったときに頼れる場」をつくる



大学生による学習支援活動の様子

清水区における長期的な復興支援の体制（2023年8月現在）



まとめ

清水区の被害と復旧・復興の状況

- 浸水被害により、2023年9月～3月は住宅修繕等のニーズが多く寄せられた
- 現在は住宅修繕等のニーズは落ち着いてきたが、後からも出ている
- 「見えない被害」「見えにくい被害」としての水害被害

中長期支援の体制

- 静岡市においては、みんなの居場所ふらっと／静岡市地域支え合いセンター／しぞ〜か・まめっ隊をはじめとする市民ボランティアといった多様な主体
- 行政・民間・専門家・市民ボランティア・住民の共同

今後に向けて…

- その後…令和5年台風2号（2023年6月）の発生
- 地域のなかに、共に支え合う関係性があること、つくっていくこと